

股関節疾患・股関節周囲の外傷の治療のため
当院に入院・通院された患者さんの診療情報を用いた
医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属 <u>整形外科</u> 職名 <u>講師</u> 氏名 <u>金治 有彦</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3812</u>
実務責任者	所属 <u>整形外科</u> 職名 <u>助教</u> 氏名 <u>大矢 昭仁</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3812</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2017 年 11 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までの間に、整形外科にて股関節疾患・股関節周囲の外傷の治療のため入院、通院し、診療、手術、検査、リハビリを受けた方

2 研究課題名

承認番号 20170241

研究課題名 股関節疾患・外傷の臨床画像評価および患者満足度調査による
最適な治療大系の確立

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部整形外科学教室 (主機関)

共同研究機関	研究責任者
慶友人工関節センター	泉田良一
済生会中央病院	柳本繁
東京歯科大学市川総合病院	堀田拓
国立病院機構東京医療センター	藤田貴也
北里研究所病院	金子博徳
済生会横浜東部病院	船山敦
川崎市立川崎病院	山口健治
埼玉メディカルセンター	城本雄一郎
さいたま市立病院	武田健太郎
済生会宇都宮病院	橘田祐樹
国立成育医療研究センター	内川伸一

4 本研究の意義、目的、方法

高齢化を迎えたわが国で健康寿命の延伸は不可欠です。股関節疾患・股関節周囲の外傷の多くは、患者さんの生活の質を低下させ寝たきりの原因になることがあります。また、たとえ短期的には治療がうまくいっても変形性股関節症が進行し、関節軟骨の変性や摩耗によって関節の破壊が生じてしまうこともあります。社会的にもこれら股関節疾患の治療は重要な課題となっています。

股関節疾患・股関節周囲の外傷の治療方針をたてるに当たっては、年齢、性別、病気の程度やももとの原因になった疾患だけでなく、仕事の内容や趣味といった患者様の生活に関連すること、あるいは脊椎や膝などの近接関節の状態、現在服用している薬剤や骨粗鬆症の程度など多くの因子を考慮して医師と患者さんが相談しながら決めていく必要があります。医師の考え方も反映されるため、医師によって治療法が異なることは多々あります。そこで今回は慶應大学病院および関連施設で股関節疾患・股関節周囲の外傷に対して治療をしている患者様に対しまして、通常行っている診察、単純 X 線、CT や MRI などの画像検査、血液検査、各種臨床スコア、アンケートを集め解析することで、患者満足度が高い治療体系を確立することを目的としています。

これらのデータはパスワード付きのハードディスクに匿名化(後述)され保存されます。

5 協力をお願いする内容

対象となる患者様の診療録や画像検査所見などの記録を参考に調査致します。従いまして、皆様に新たなご協力をお願いすることはありません。

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後～2023年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

住所:〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

電話:03-5363-3812(医局直通)

担当者:慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 大矢昭仁

以上